

令和7年度 食品ロス削減に係る取組・事業について
(市町・食品関連事業者・関係団体・県関係課)

資料4

分野	A：家庭	B：小売・外食・宴会	C：その他
	1：住民啓発 3：食品ロスの実態調査 5：協力店舗等の登録 7：関係団体との連携 9：その他	2：キャンペーン・イベント 4：子供への啓発・教育 6：事業者への働きかけ 8：食材使い切り、リメイク料理	

①市町

団体名	松山市
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	市民一人ひとりの消費行動の変容を促すための取組や啓発を通じて、食品ロス削減を推進する。
事業内容	<p>① 食品ロス削減の啓発取組（分野：A・B・1・2・7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法で食品ロスの削減につながる市民啓発を積極的に展開した。 【メディア啓発】 <ul style="list-style-type: none"> ・CATV（1回）、広報テレビ（2回）、広報ラジオ（1回）、広報誌（2回）、りっくるLINE（2回）、りっくるInstagram（7回）、市ホームページ掲載、ストリートビジョン、市駅周辺サムネイル 【連携啓発】 <ul style="list-style-type: none"> ・企業、行政等との連携啓発（10回） 【イベント】 <ul style="list-style-type: none"> ・環境フェア、まつやま農林水産まつりブース出展 ・りっくるクルくるマーケット（4回） <p>② 食品ロス削減の教育講座（分野：A・B・1・4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人まで環境教育の一環として、食品ロスの実態や原因のほか、削減のための工夫などを学ぶ機会を設けた。 【講座・説明会】 <ul style="list-style-type: none"> ・まちかど講座（3回）、エコリーダー派遣（4回）、大学生への啓発（2回）、りっくる講座（6回） ・小学生向け環境学習帳作成、りっくるだより作成（3回） <p>③ 松山市食品ロス削減推進計画ワーキンググループでの連携（分野：A・B・7・9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に策定した「松山市食品ロス削減推進計画」をもとに、関係各課で構成されるワーキンググループ内で連携しながら食品ロス削減を推進した。 <p>④ フードドライブ活動の推進（分野：A・1・2・7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業やNPO法人と連携し、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク団体を通じて必要としている団体等に届ける活動を実施した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日、26日の2日間にわたり、まつやま環境フェア内で実施 ・フードドライブ活動を実施する団体等を対象に、のぼり、箱、啓発パネルを貸出し、活動の支援をした。 ・貸出実績：2回
	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：「3010運動」に取り組む飲食店を募集し、登録事業者を市ホームページで紹介した。</p> <p>■実績：登録店舗数49（R8.1.31現在）</p>

団体名	今治市
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	家庭及び外食産業から排出される食品ロス削減を図る。
事業内容	<p>① フードドライブ（A・1・7）</p> <p>（1）いまばり環境フェスティバルや、庁内フードドライブで、未利用食品を収集し、市内の子ども食堂へ分配。</p> <p>■ R7 年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いまばり環境フェスティバル 2025（R7.10.19）21品目 ・庁内フードドライブ（R7.12.10～19）389品目 <p>（2）市のHPにて、市内フードドライブ実施店舗の周知。</p> <p>② 市民への啓発活動（A・1・2・4・7・8）</p> <p>（1）食品ロス削減についての出前講座を実施（R7.4.23：今治西高校）</p> <p>（2）四国ガス（株）と共同で食品ロス×エコクッキング教室を開催（R7.7.26）</p> <p>（3）関係団体にて啓発品を作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食品ロス削減啓発用ウェットティッシュ」を制作し、いまばり環境フェスティバル（R7.10.19）で周知啓発。 <p>（4）SNS媒体を活用したプロジェクトへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者庁が10月の「食品ロス削減月間」に実施する「SNS媒体を活用した食品ロス削減啓発プロジェクト」へ参加。（R7.10月：市SNS（X、Facebook、LINE）にて啓発） <p>（5）市のHPにて、食品ロス削減啓発記事（3010運動）の掲載。</p> <p>③ 食品ロス実態調査（A・3）</p> <p>愛媛県が実施する、家庭系食品ロス実態調査業務への協力（今治市内3地区の家庭ごみ組成調査を実施）</p> <p>④ 外食時等のおいしい食べきり全国共同キャンペーン（A・2）</p> <p>全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会からの依頼で、会食の多い12月から1月にかけて、外食時等の食べきりを呼び掛けるため、市SNS</p>

	<p>(X、Facebook、LINE)にて周知啓発を実施。</p> <p>⑤ 生ごみ処理機等購入補助金 (A・9) 生ごみ処理機等を市内で購入された市民へ、購入費の一部を補助。 ■ R7 年度実績 (R8.2.12 現在) 80基 (密閉型6基、コンポスト20期、電気式54基)</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度(「おいしい食べきり運動推進店制度」)について</p> <p>取組内容：食品ロス削減に取り組む飲食店等を市HPで募集した。 登録店舗へは、食べ残し削減を呼び掛けるステッカーを配布し、店舗に掲示して頂くことで、市民への削減意識高揚を目指した。 また市HPに登録店舗HPなどへのリンクを掲載した。</p> <p>■ R7 年度実績 登録店舗数 18店舗 (R8.2.12 現在)</p>
--	---

団体名	宇和島市
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	食品ロスについて広報や啓発、教育を通じて、食品ロス削減への意識関心を高め、食品ロスの削減を図る。
事業内容	<p>① ダンボールコンポストの利用推進 (分野：A・1・4) ・市内の保育園等や小学校・中学校において、ダンボールコンポストを利用した3Rや食のリサイクルについての出前授業を実施。 ■実績：小学校1校、保育園2園で実施</p> <p>・生ごみ処理機等設置費補助金として、生ごみ処理機等の購入費の一部を助成。 ■実績：生ごみ処理機22台、生ごみ処理容器2台、ダンボールコンポスト一式0セット、ダンボールコンポスト基材2個</p> <p>② フードドライブの実施 (分野：A・1・7) 市内で実施された子ども食堂連絡協議会及びNPO法人によるフードドライブへの協力。 ■実績：令和7年12月27日～28日 9時～16時 きさいや広場 実施主体 宇和島市子ども食堂連絡協議会 実績は集計中</p> <p>③ 環境教育教材の作成 (分野：A・1・4) 宇和島市環境基本計画に重点施策として掲げている「食品ロスの削減」及び「環境教育」について、小学校中・高学年向けに教材を作成し、各学校へ配布。</p> <p>④ 食品ロス削減推進事業補助金 (分野：B・5・6・) 「おいしい食べきり運動推進店」に登録している市内の飲食店等を対象に、</p>

	<p>外出時の食べ残しの「持ち帰り」を推進し、利用者に提供する持ち帰り容器の購入費用を支援するもの。</p> <p>■実績：申請店舗数 2店舗</p>
	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：食品ロスの削減を推進するため、食べ残しを減らす取り組みを実践する飲食店、宿泊施設等を「おいしい食べきり運動推進店」として登録し、ホームページ等で紹介。</p> <p>■実績：R7年度 登録店舗数 30店舗（R8.2.1現在）</p>

団体名	八幡浜市
事業名	①②市内企業等との連携協定 ②生ごみ処理機等の購入補助
目的	食品ロス削減の推進やごみの減量化を図る。また、企業等と協定し、食品ロス削減を通じて、ふるさとへの愛情の醸成や特産品PRと活性化を図る。
事業内容	<p>①市内の児童施設等への菓子（おやつ）無償提供（分野：C・4・6） 市内にある菓子製造・販売メーカーと連携協定を結び、本社工場で作られる廃棄の可能性のある菓子を市内の保育所等におやつとして無償提供を受け、企業は廃棄にかかるコスト削減や従業員の仕事に対する士気向上、子どもたちは、地元にある企業を知り、味覚を通じてふるさとへの愛情が芽生えるきっかけとする。</p> <p>②食品ロス削減取組事業者及び銀行との連携（分野：C・6・7） 当市と食品ロス削減取組事業者と銀行と3者で協定を結び、食品ロス削減に対する意識向上に加え、担い手不足による未収穫製品の解消及び食品ロス削減に向けた消費行動への変容を促し、当市の特産品PRと活性化を図る。</p> <p>③生ごみ処理機等の購入補助（分野：A・9） 家庭から排出される生ごみの減量、たい肥化するための家庭用電気式生ごみ処理機及び生ごみ処理容器の購入に対し補助金を交付。</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：八幡浜市内で営業を行う飲食店、宿泊施設のうち、申請のあった食品ロス削減の取組を実践している飲食店、宿泊施設を、「おいしい食べきり運動推進店」に登録し、市ホームページで紹介をする。</p> <p>■実績：登録店舗数 5店舗（R6.3.31現在）</p>

団体名	新居浜市
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	愛媛県との協調のもと、本市において食品ロスの削減が進むよう市民・事業者と共同し、取組を進める。
事業内容	<p>①組成調査の実施（分野：A・3） 削減推進計画において設定した推進目標の達成状況及び、家庭系食品ロス量を把握するため、組成調査を実施した。</p> <p>②「にはま食品ロス削減推進計画」推進（分野：C・9） 食品ロスの削減に向け、市民・事業者・行政が取り組むべき指針となる計画について、推進目標達成に向け施策の推進に取り組んだ。</p> <p>③にはま3Rネットワークの推進（分野：C・9） フードバンク・フードドライブの実施・協力事業者の登録を推進した。</p> <p>④おいしい食べきり運動推進店登録制度推進（分野：B・5・6） 食品ロス削減のために取組を実施している店舗について、市のHP等で積極的に店舗名や取組内容を紹介し、食べきり推進に向けた意識啓発を図った。</p>
	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容：食品ロス削減のために取組を実施している店舗について、市のHP等で積極的に店舗名や取組内容を紹介する。</p> <p>■実績：登録店舗数（R7.3.31現在） 18店舗</p>

団体名	西条市
事業名	ごみ対策費
目的	家庭等から排出される、生ごみの減量化及び堆肥としての再資源化を推進し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。
事業内容	<p>① 生ごみ処理機等設置費補助金（分野：A・1・9） 市内の一般家庭が購入設置する生ごみ処理容器及び機械に補助金を交付し、家庭から排出される、生ごみの減量化及び堆肥としての再資源化を推進した</p> <p>■実績：生ごみ処理容器 24 件、生ごみ処理機械 29 件 ※令和 5 年度より西条市 LOVESAIJO ポイント事業でのポイント付与に完全移行 取組内容：生ごみ処理容器 1 世帯 2 基以内で購入価格の 2 分の 1 以内（1 基につき 3,000 ポイントを限度）、生ごみ処理機 1 世帯 1 基で購入価格の 2 分の 1 以内（1 基につき 20,000 ポイントを限度）の</p>

	<p>購入補助を行った。</p> <p>② フードドライブの実施（分野：A：1・7） 市役所本庁庁舎内で食品ロス削減月間からフードドライブコーナーを設置した。（令和5年10月から開始） ■実績：重量 4.1 k g 主な食品は菓子類</p>
	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容：おいしい食べきり運動推進店（分野：B・5・6） 外食産業から排出される食べ残し等による食品ロスの削減を推進するため、食べ残しを減らす取組を実践する飲食店、宿泊施設等を「おいしい食べきり運動推進店」として登録し、その取組をホームページ等で広く紹介することで、食べきりの推進に向けた意識啓発を図った。 ■実績：登録店舗数：105 店舗（R8.1.31 現在）</p>

団体名	大洲市
事業名	食品ロス削減
目的	持続可能なまちづくりを推進するため、市民へ食品ロスの実態を伝え、自分ごととして捉えてもらうことを目的として啓発活動を実施。
事業内容	<p>① 持続可能なまちづくりシンポジウム企画・運営事業（分野：A・1・2・3・4・8） (1)市内高校での食品ロス削減ワークショップの開催 高校の総合的な学習の時間で、「食品ロス」をテーマに研究するグループにおいてワークショップを開催した。食品ロス削減に取り組む農家や企業の話などを聞き、身近にできる食品ロス対策について調査したほか、効果的な啓発の手法についても学習した。 ■実績 (全 10 回) 実施日：6/23、7/7、7/14、9/17、9/21、9/29、10/14、10/20、11/10、12/15 場 所：愛媛県立大洲高等学校</p> <p>(2)持続可能なまちづくりシンポジウム開催 シンポジウムの中で、高校生らが(1)でまとめた食品ロスに関する調査結果や、食品廃棄を減らすための身近な取り組みについて発表した。 ■実績 日 時：令和7年12月21日（日） 場 所：大洲市民会館大ホール 来場者：約 100 名</p> <p>②市民への周知啓発（分野：A・1・8） 市公式ホームページに市内の食品ロスの現状、食品ロスが起こる要因、身近にできる食品ロス対策についての記事を掲載。 ■実績 掲載期間：令和7年6月17日（火）～掲載中</p>

	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：食べ残しを減らす取組を実践する飲食店・宿泊施設を「おいしい食べきり運動推進店」として登録し、その取組を市ホームページ等で広く紹介することで、食べきりの推進に向けた意識啓発を図った。</p> <p>■実績：登録店舗数（R7.3.31 現在） 7店舗</p>
--	--

1 開催概要

事業名：大洲市持続可能なまちづくりシンポジウム

目的：環境に配慮したまちづくりを推進するため、市民一人ひとりが環境問題を自分ごととして捉え、環境とまちづくりについて考えるきっかけの場とすることを目的として実施した。

日時：令和7年12月21日（日）13時30分～15時30分

場所：大洲市民会館大ホール

主催：大洲市

企画・運営：一般社団法人キタ・マネジメント

参加者数：約100名

2 プログラム内容

(1) 事例紹介

発表者：大洲市環境生活課 環境政策係長 泉 史夫

演題：大洲市の持続可能なまちづくりの取組と課題

概要：人口減少社会を見据え、環境施策やエネルギー政策を軸とした大洲市の持続可能なまちづくりの考え方について説明

(2) 講演

講師：同志社大学経済学部経済学科 准教授 原田 禎夫 氏

演題：川から考える持続可能な観光地づくり

概要：京都府亀岡市のプラスチックごみ削減の取り組み紹介
プラスチックごみが環境や生態系に与える影響についての解説
肱川で実施したごみ調査の結果についての説明

(3) 大洲高校生による発表

大洲高校普通科1年生が総合的な学習の時間「良知の時間」で研究した「食品ロス」「モビリティ」についての研究発表を行った。

【食品ロス班】家庭での食品ロスの実態調査や、市内で食品ロス削減に取り組む事業者から話を聞いた内容を基に、

【モビリティ班】交通量調査を実施したうえで、大洲市の現状と課題を整理し、環境への配慮と暮らしやすさを両立する移動の仕方を提案。

3 成果および今後の展開

本シンポジウムでは、専門家による講演と高校生の調査・発表を通じて、市民が身近に感じるテーマをもとに環境問題への理解を深め、自分事として捉えるきっかけを提供することができた。今後は、本シンポジウムで得られた知見を環境施策や啓発活動に生かし、市民や関係団体と連携しながら、環境に配慮したまちづくりの取組を進めていく。



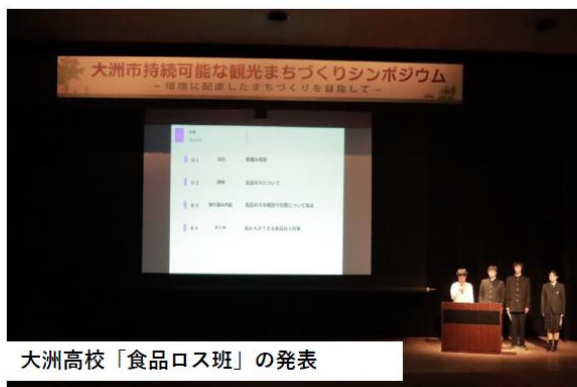
シンポジウム当日の様子



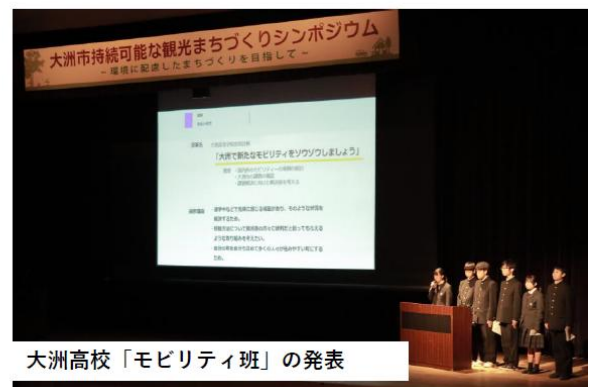
同志社大学経済学部 原田准教授の講演



大洲市環境生活課職員による取組紹介



大洲高校「食品ロス班」の発表



大洲高校「モビリティ班」の発表

団体名	伊予市
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	食品ロスについて広報や啓発等を通じて、食品ロス削減への意識や関心を高め、食品ロス削減を推進する。
事業内容	<p>① 環境教室の実施（分野：C-7） 市域の団体等が実施する勉強会に講師として参加し、食品ロス削減及び、ごみの削減等について啓発を行う。</p> <p>② 庁内への啓発（分野：B-2） 懇親会等における「宴会5箇条」と「3010運動」の実施を呼びかける。</p> <p>③ 市民への啓発（分野A-1） 広報誌やHPにおいて、食品ロスに関する記事を掲載し、周知する。 市役所にて、パネル展を開催し周知、啓発活動を行う。</p> <p>④ 伊予市「おいしい食べきり運動推進店」事業（分野：B-5） 推進店を募集し、外食時における食品ロス削減について協力を呼びかける。</p> <p>⑤ 食品ロスの実態調査（分野：A-3） 愛媛県が実施する実態調査に協力し、実態調査を行う。</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容： 趣旨に賛同し登録いただいた推進店をHP等にて紹介 ■実績：登録店舗数（R7.3.31現在） 4店舗</p>

団体名	四国中央市
事業名	1.学校給食における食品ロスに対する取り組み（教育総務課） 2.「四国中央市おいしい食べきり運動協力店」登録事業（生活環境課） 3.フードドライブの実施（生活環境課）
目的	食品ロスの削減が進むよう、教育現場や食品提供店から推進を行う。
事業内容	<p>① 教育現場での啓発の実施（分野：C・4） 栄養教諭による栄養指導や食育、「食育だより」などの配布による啓発、「食育月間」である6月や11月に学級単位で残飯ゼロを目指す取り組みを行う。</p> <p>③ フードドライブの実施（分野：A・2） ・市役所市民交流棟1階にて令和7年10月にフードドライブを実施、市内のこども食支援団体等へ提供することにより資源の循環を図る。市公式HP、市広報誌（10月）にて周知。 ※提供：市内こどもの食支援団体等6団体</p>

	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について（分野：C・5）</p> <p>取組内容：食品ロスの削減に協力してくれる店を募集し、「四国中央市おいしい食べきり運動協力店」として登録し、市HPで紹介する。</p> <p>■実績：登録店舗数2（R7.3.31現在）</p>
--	---

団体名	西予市
事業名	食品ロス削減に関する事業
目的	食料資源の有効利用やゴミ自体を減らすことによる処理費等の削減
事業内容	<p>① 市民への周知啓発活動（分野：A・1）</p> <p>市要綱に基づき委嘱している環境委員に家庭系ごみの減量化の一つの方法として食品ロス削減方法を周知する。5月～6月に各旧町単位での委員会を開催。</p> <p>■実績：対象委員数333名</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：</p> <p>■実績：登録店舗数（R7.3.31現在）10店舗</p>

団体名	東温市
事業名	東温市環のまちづくりプロジェクト（平成18年度～） 環境省地球温暖化対策国民運動『COOL CHOICE』事業として展開
目的	食品残さの堆肥化による資源循環型農業の展開、地場産給食、地産地消・食育推進事業の一環として、食品ロス削減の取り組みを推進する。
事業内容	<p>①食育推進基本計画等と連携した取り組みの実施（分野：C・4・8）</p> <p>食育推進計画に基づき、食育・フードマイレージ学習（地場産給食・地産地消）など、自らのライフスタイルを見直し、自分にできることに「気づく」ため、環境教育の一環として実施した。</p> <p>② 「おいしい食べきり運動推進店」登録制度の実施（分野：B・5・6）</p> <p>市内で食品ロス削減に取り組む飲食店等を「おいしい食べきり運動推進店」として登録する制度の周知に努めた。</p>

	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：市内で食品ロス削減に取り組む飲食店等を「おいしい食べきり運動推進店」として登録する制度について、現在登録がないことから積極的に周知を図り、登録店の増加を目指した。</p> <p>■実績：登録店舗数（R7.3.31 現在） 店舗 0</p>
--	--

団体名	上島町
事業名	食品ロス削減につながる啓発活動の推進
目的	町内で様々な啓発活動を積極的に行い、幅広く食品ロス防止に努める。
事業内容	<p>食品ロス削減に関する特定の事業はないが、下記の環境保全に関する取組内で啓発（A1、A4）</p> <p>クリーンセンターの見学や環境美化ポスターの募集等を行い、環境保全のほか、食品ロス削減につながる啓発活動を実施。</p> <p>また、環境美化ポスターは町広報誌へ掲載することで、町全体に向け啓発活動を実施。</p>
	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：</p> <p>■実績：登録店舗数 2店舗（R7.3.31 現在）</p>

団体名	久万高原町
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	家庭や事業者が、それぞれに合った食品ロス削減の取り組みを行うことで、町内から発生するごみの量を減らすとともに、町民の食品ロス削減に対する意識向上を図る。
事業内容	<p>①生ごみ処理容器設置補助金交付事業（分野：A・9） 生ごみ処理容器の購入費用の補助を行い、ごみとして出される食品の量を減らす取り組み。</p> <p>②町民に対する啓発活動（分野A・B：1） 町から住民へ支給している資源ごみ袋に、食べ残しゼロの啓発文言を印字し、住民への啓発活動を行う。</p> <p>③「3010運動」の推進（分野：B・1） 町職員や住民へ「3010運動」を広報等で周知する。</p>

団体名	松前町
事業名	ごみ分別アプリ 松前町「おいしい食べきり運動推進店」
目的	家庭・外食産業をターゲットとした食品ロスの削減を図る。
事業内容	<p>① ごみアプリを利用した啓発（A・1） ごみ分別アプリのインフォメーション機能（アプリ導入端末へのプッシュ通知機能）を利用して、食品ロスの削減の重要性について啓発している。</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容：食べ残しを減らす取り組みを実践する飲食店、宿泊施設 等を募集し、「おいしい食べきり運動推進店」（以下「推進店」という。）として登録するとともに、その取り組みを広く紹介することで、食べきりの推進に向けた意識啓発を図る。 ■実績：登録店舗数0件（R7.3.31現在）</p>

団体名	砥部町
事業名	おいしい食べきり運動推進事業
目的	外食産業の食品ロスの削減を図る。
事業内容	<p>(分野：B-1・5・6)</p> <p>① 砥部町「おいしい食べきり運動推進店」の登録 食品ロス削減に取り組む町内の飲食店、宿泊施設等を募集して、砥部町「おいしい食べきり運動推進店」とし、登録して店舗に登録証を発行するとともに、登録店舗の名称や取り組み内容をホームページで公表した。</p> <p>② フードドライブ常設店の紹介（A-1・2・7） ホームページにてフードドライブ常設店の紹介を行い、家庭系食品ロスの削減と、フードバンク活動の活性化を図った。</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容：募集を行い、応募店には登録証を発行する。</p> <p>■実績：登録店舗数（R7.3.31 現在） 23 店</p>

団体名	内子町
事業名	食品ロスに関する啓発事業
目的	食品ロスの実態を知ってもらい、廃棄物の削減に資するため
事業内容	<p>町民の環境教育出前講座（分野 A・1） 町民の学習会に出前講座として職員を派遣し、食品ロスの実態や、日ごろの心がけの大切さを説明した上で、家庭で取り組める食品ロス解消のコツを紹介する。 併せて環境に関する最近の話題提供を行い、環境への意識啓発を高める機会としている。 実績：男性料理教室での出前講座(令和8年1月 2回)</p> <p>内子町広報紙での啓発 「環境にやさしい買い物キャンペーン」に合わせ「日頃から心がけよう環境にやさしい買い物」と題し、環境啓発コラムを掲載。記事では食品ロス削減に寄与する買い物についても言及した。</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容： ■実績：登録店舗数（R7.3.31 現在） 3 店</p>

団体名	伊方町
事業名	おいしい食べきり運動推進店登録の募集案内
目的	推進店を増やし、フードロス削減を図る。
事業内容	<p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容：登録の募集案内（分野：B・6）</p> <p>■実績：登録店舗数（R7.3.31 現在）0件</p>

団体名	松野町
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	啓発活動を行い、食品ロスの削減に取り組んでいく
事業内容	<p>①協力店舗等への登録（分野：B・5・6） 飲食店への「おいしい食べきり運動推進」に関する協力依頼</p> <p>②職員への啓発（分野：B・2） 歓送迎会、忘年会等における「3010 運動」の実施の呼びかけ</p> <p>③ 住民啓発（分野：A・1） ポスター、チラシ等による食品ロス削減に向けた啓発活動の実施</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容： ■実績：登録店舗数（R7.3.31 現在） 5店舗</p>

団体名	鬼北町
事業名	食品ロス削減推進事業
目的	食品ロス削減に係る関連情報を発信し、町民に関心を持たせ町内の食品ロスの削減を図る。
事業内容	<p>○食品ロス削減の啓発活動</p> <p>①「食品ロス」削減月間周知（分野：A・B・1・6） 回覧（9月24日）で「食品ロス削減」の普及啓発を行った。</p> <p>②SNS発信（分野：A・1） 10月27日にSNS（インスタグラム）により、食品ロス削減デーの啓発を行った。</p> <p>③電気生ごみ処理機・コンポスト等の設置補助金（分野：A・9） 食べ残しの再資源化対策として、電気生ごみ処理機・コンポストの設置に対し補助金を交付した。 ■実績：電気生ごみ処理機：1基、コンポスト：1基</p> <hr/> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について 取組内容：HP等でおいしい食べきり運動推進店制度の登録店舗の募集を行った。 ■実績：登録店舗数（R7.2.20現在） 登録事業者数：5店（令和7年度増加店舗数：0）</p>

回 覧

鬼環発第309号
令和7年9月24日

鬼北町長 兵頭 誠亀

食品ロスを減らしましょう

日頃は、環境行政に関しご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
令和5年度の国内の食品ロス発生量は約464万トン、うち家庭系は約233万トンです。食品ロス削減のためには、家庭での取組が重要です。
日本では、食品ロスを減らすため、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「30・10（さんまる・いちまる）運動」にちなんで「食品ロス削減の日」と定められました。

食品ロスを減らすために、今できること

○食品の期限表示を正しく理解する

食品の期限表示は、「消費期限」と「賞味期限」の2種類があります。

「消費期限」は、食べても安全な期限

「賞味期限」は、おいしく食べることができる期限

「賞味期限」は、期限を過ぎてもすぐに廃棄せずにまだ食べられるかどうかを判断することも大切です。

○買い物の際の「手前どり」

「手前どり」とは、商品棚の手前にある商品や値引き商品など、販売期限が近い商品を積極的に選ぶ購買行動です。

買い物の際、すぐに食べるのなら手前から商品を取るように心がけてください。

○買い物前に冷蔵庫をチェック！

○使い切れる分だけ買う

○調理は作りすぎない

【お問い合わせ先】

鬼北町役場 環境保全課 環境衛生係

担当：山本

☎0895-45-1115（内線2443）

団体名	愛南町
事業名	おいしい食べきり運動推進事業
目的	家庭内及び外食産業の食品ロスの削減を図る
事業内容	<p>① 住民啓発（分野：A、B・1） 町広報誌、かんきょうかわら版、CATV等による啓発活動</p> <p>② 協力店舗等の登録（分野：B・5、6） 事業者へのおいしい食べきり運動推進店への登録協力依頼</p> <p>③ フードドライブ常設コーナーの設置（分野：A・1、7） 愛南町社会福祉協議会と連携したフードドライブ常設コーナーを本庁・支所庁舎内に設置</p> <p>④ 食品ロス調査の実施（分野：B・3） 町内の食品関連事業者を対象に食品ロスに関する現状や取り組み状況を調査</p> <p>★市町の食品ロス削減に取り組む飲食店等を登録する制度（「おいしい食べきり運動推進店制度」）について</p> <p>取組内容：取組内容：チラシ・HP等による登録店の募集 ■実績：登録店舗数 3店舗（R7.3.31現在）</p>

② 食品関連事業者

団体名	株式会社 フジ
事業名	—
目的	E S G経営を推進し、社会的責任を果たし地域に貢献する企業であり続けるため、事業活動を通じて、また地域のお客様と共に食品ロス削減に取り組む。
事業内容	<p>① フードドライブ活動の実施（分野：B・1・2） 愛媛県内75店舗にてBOXを設置しフードドライブを実施している。2024年度14,299kgの寄贈実績となった。 全店での実施に向けて、環境を整備していくことと、お客様への周知活動も実施。</p> <p>② 食品ロス削減月間の取り組み（分野：B・1・2） 10月に店頭での告知物やアプリ・SNSを通じて、地域のお客様へ食品ロス削減にむけたアクション（てまえどりなど）を紹介、エシカル消費行動の推進などとあわせて啓発を行う。</p> <p>③ 事業活動で生じる食品廃棄物の削減(分野：B・9) AIなどデジタルを活用した管理システム活用による精度の向上。 販売限度日の見直しによる販売期間拡大。 ガス置換包装機の導入による販売期限の延長（対象商品拡大）。 販売限度日の見直しによる廃棄ロス削減</p> <p>(参考資料) ホームページアドレス サステナビリティ 株式会社フジ 会社案内サイト <https://www.the-fuji.com/company/sustainability/></p>

団体名	ヤマキ（株）
事業名	—
目的	—
事業内容	<p>・賞味期限の延長および賞味期限の年月表示化（分野：C・9）</p> <p>つゆ等の製品について、賞味期限の延長を検討。延長可能な製品は延長実施。あわせて、年月表示への切り替えを検討。</p>

③ 関係団体

団体名	一般社団法人 愛媛県食品衛生協会
事業名	—
目的	食品ロス削減が進み、県民にこの活動が広く周知されるよう、食に関する衛生管理とあわせ、各種講習会参加者や協会会員店舗や施設にチラシ配布を行い、「食品ロス」周知活動に協力する。
事業内容	昨年度同様、各支部へチラシを送付し、窓口に来られた方や各種講習会参加者へ配布し、食品ロス推進の重要性について周知した。

団体名	特定非営利活動法人 e ワーク愛媛
事業名	1) えひめフードバンク愛顔によるフードバンク事業 2) 全国食品ロス削減研究会をとおした食品ロス削減に関する研究・調査・広報・啓発・実践事業
目的	1) 食品ロス削減の推進、未利用食料の活用による地域再生・地域活性化推進、未利用食料活用による食料必要者との食料シェア 2) 食品ロス削減の推進、フードバンク活動のあり方・活動方法の方向性確認、子どもや若年層の啓発
事業内容	1) えひめフードバンク愛顔の活動 ①県内講演・講義（高校、食品企業、県民参加セミナー、福祉・人権団体等）9回（A,B,C-1,2,4,6,7,8） ②県外講演（山口、広島、岡山、香川、中四国等）5回（A,B,C-1,2,4,6,7,8） ③学生・一般見学・研究調査受入 7回（C-1,4,7） ④イベント等を活用した情報発信 3回（A,B,C-1,4,6,7,8） ⑤メディア活用した情報発信 新聞5回、SNS等 Web 発信 37回（A,B,C-1,4,6,7,8） ⑥県内外団体との勉強会・会議開催・出席 5回（A,B,C-1,2,3,4,6,7） ⑦各種食品ロス削減推進講座出席 8回（C-1,2,3,4,6,7） ⑧子ども用啓発冊子の内容更新・印刷・配布（A-1,4） ⑨フードドライブマニュアル印刷・配布（A-1,6,7） ⑩通常フードバンク活動（A,B,C-1,2,3,4,6,7,8） 2) 全国食品ロス削減研究会の活動 ①フードバンク食料の配布方法とその状況について研究発表・冊子配布（C-1,6,7） ②食品ロス削減シンポジウム開催 4回（A,B,C-1,2,3,6,7,8） ③書籍上梓による広報・啓発（A,B,C-1,2,3,6,7,8）

④ 県庁関係課

団体名	県消費生活センター
事業名	おもいやり消費普及啓発事業
目的	環境や人、地域をおもいやる消費活動について、消費者一人ひとりが「おもいやり消費」を心掛けるきっかけとなるよう、地域へのおもいやりをテーマに商業施設でイベントを開催し、意識の向上を図る。
事業内容	<p>〔事業ごとに上記の分野から該当する事項を選んで下さい。〕</p> <p>○おもいやり消費普及啓発キャンペーン（分野：A・1、2、4、7） 令和7年11月15日（土）に、エミフルMASAKIにおいて、おもいやり消費普及啓発イベントを開催。 おもいやり消費に関するパネル展示のほか、フードロス対策に関するトークセッションを行った。</p> <p>●イベント参加者：約2,500人</p> <p>●チラシ・啓発リーフレット 別添のとおり 「おもいやり消費」 人や地域、環境について課題を考えたり、そうした課題に取り組む事業者等を応援したりと、様々なおもいやりを込めて行う消費行動。環境に配慮した消費行動のテーマの一つとして、食品ロス削減を含む。</p>

未来のため
のあなた
の選択

みらい

愛媛県
イメージアップ
キャラクター
みきゃん

えひめ

来場者
プレゼント!



せんたく

勝手に書ける
スリムペンシル

しょう

入場
無料

キティちゃんが
遊びにくる!

おもしろ
消費
アクション!

おもしろ
消費
アクション!

おもしろ
消費
アクション!

おもしろ
消費
アクション!

選ぶ、
買う、
使う。

えら

か

つか

愛媛県消費生活情報センター
イメージキャラクター
こまどりの
PiPi(ピピ)

2025
11/15 土
11:00~16:00
エミフルMASAKI グリーンコート

司会 あいテレビアナウンサー
近藤 雅之



おもしろやりトークセッション
「今から始めるフードロス対策」

おもしろやり
消費講座

ダンスパフォーマンス
「松山キッズテア」

みきゃん・こまどりのPiPiとの
撮影会

高校生による
SDGs活動発表

おもしろやり
消費クイズ大会

県内企業による
展示ブース



SDGs スペシャル
ステージ

主催 愛媛県 (愛媛県消費生活センター)

© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. PT0922-1

私たち消費者ができる社会貢献 それが「おもしろ消費」です。



キティちゃんによるSDGsスペシャルショーやチアダンスパフォーマンス、クイズ大会など、楽しみながら「おもしろ消費」について学んでいきましょう！

ステージ イベント

司会

あいテレビ
アナウンサー
近藤 雅之



午前の部

時間	ステージ
11:00 ~ 11:05	オープニングセレモニー
11:05 ~ 11:15	ダンスパフォーマンス
11:15 ~ 11:30	おもしろ消費講座
11:30 ~ 12:00	キティちゃんスペシャルステージ
12:00 ~ 12:15	高校生によるSDGs活動発表
12:15 ~ 12:30	みきゃん・こまどりのPIPI撮影会

午後の部

時間	ステージ
13:30 ~ 13:40	ダンスパフォーマンス
13:40 ~ 14:10	キティちゃんスペシャルステージ
14:10 ~ 14:35	おもしろトークセッション
14:35 ~ 15:00	おもしろ消費クイズ大会
15:00 ~ 15:15	おもしろ消費講座
15:15 ~ 15:45	キティちゃんスペシャルステージ
15:45 ~ 15:55	みきゃん・こまどりのPIPI撮影会
15:55 ~ 16:00	フィナーレ

おもしろトークセッション 「今から始めるフードロス対策」

愛媛県内でフードロスについて取り組まれているお二人から、簡単に始められる事例を紹介します。

特定非営利活動法人eワーク愛媛
難波江 任 Tadamasa Nabe



愛媛県の自立支援や経済発展支援事業などを活用して、困難を抱える事業者の自立支援を続けながら、フードバンク、地域再生、買い物弱者支援、こども食育などの活動を展開中。一方、地域の食文化、食品のロス削減に関する研究を継続中である。愛媛大学大学院 総合農学研究所 専任助教授、博士（農学/食育経営学分析）。

愛媛大学 専任教授
垣原 登志子 Toshiko Kakihara



災害時に活用できる食品（保存性、栄養素、利便性）について、地域の保存食の発展と商品開発を行っており、最近では愛媛県の特産品であるほどか愛媛等の商品開発を行っている。また、高齢者の食（野菜の収穫と味）をはじめ、特別支援学校の児童・生徒を対象に食育について研究を行っている。

SDGs スペシャル ステージ

キティちゃんが
遊びにくる！

ハローキティと一緒にSDGsを
楽しく学ぼう！



© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. P13022-1

高校生によるSDGs活動発表



東温高校

遠くから眺めると美しい愛媛の海。でも、近づいてみるとプラスチックごみがいっぱい。私たち環境理解研究部は「紙・プラスチック！」を提案して活動しています。



伊予農業高校

後大・伊予市役所・伊予農の民公学連携事業「Project」活動も14年目になりました。伊予市の特産品を用いた商品開発を頑張っています。

ダンス パフォーマンス 「松山キッズチア」



元気いっぱいの演技でみなさんの心に残る素敵なチアダンスを披露します。

みきゃん・ こまどりのPIPIとの 撮影会



おもしろ 消費 講座

「おもしろ消費」や「消費生活のあれこれ」について学んでいく講座です。

県内企業による 展示ブース

地産地消など、おもしろ消費に取り組んでいる企業の取り組みを展示ブースにて紹介します。

おもしろ 消費クイズ大会

お手持ちのスマートフォンからクイズ大会に参加！上位入賞者には素敵なプレゼント！



会場
エミフルMASAKI
グリーンコート

団体名	産業技術研究所 食品産業技術センター
事業名	産業技術研究所試験研究費 (ゼロエミッションに向けたうめ素材特性の解明と応用)
目的	食品業界におけるゼロエミッション推進と収益性の向上を目的に、試験研究を通じて、うめ加工技術の高度化と食品残さの利活用に取り組む。
事業内容	うめ果実における効率的抽出、浸透技術の確立 (分野：C・9) <ul style="list-style-type: none"> ・立塩手法の違いによる果実エキス (梅酢) 抽出効率変化の検証 ・原形質分離の発生等による内部浸透効率への影響の検証 ・残さ利活用を目的とした成分分析 (5成分、有機酸等)

団体名	愛媛県 農政課
事業名	6次産業化活動支援事業費のうち6次産業化チャレンジ総合支援事業 (平成25年度～令和7年度)
目的	県内における6次産業化等の取組みを支援し、所得の向上・農山漁村の活性化を図るもの。
事業内容	農林水産物を活用した6次産業化 (農林水産物の生産から商品の開発・製造、販路開拓) の総合的な取組みに対する助成 (C・9) ■実績 県内の農林漁業者：11事業者 ※ 生産段階で出る食品ロス対策の実践

【食品ロス削減に係る取組み】

○6次産業化チャレンジ総合支援事業関係

6次産業化チャレンジ総合支援事業を活用し、食品ロス削減にも資する商品開発が実施された例は以下のとおり。

1 開発品：アスパラ茶ん（R5年度）

事業者：豊田 果歩（西条市）

〔食品ロス削減の内容〕

- ・アスパラガスの出荷調製時に切り落とす根本部分（廃棄部分）を活用したお茶を開発
- ・葉酸が豊富に含まれることやノンカフェイン等の特徴から、妊産婦の産前産後ケア商品として提案



2 開発品：河内晩柑ハンドソープ

河内晩柑アロマオイル（R6年度）

事業者：(株)三代目みかん職人（八幡浜市）

〔食品ロス削減の内容〕

- ・ジュース製造時に廃棄されていた河内晩柑の皮から蒸留水を作り、爽やかな香りのハンドソープとアロマオイルを開発
- ・他の柑橘品種を活用した商品展開も検討中



3 開発品：魚ギョッとつまったブイヤベース（R6年度）

事業者：METAFISH PROJECT～甦れ魚たち～（伊方町）

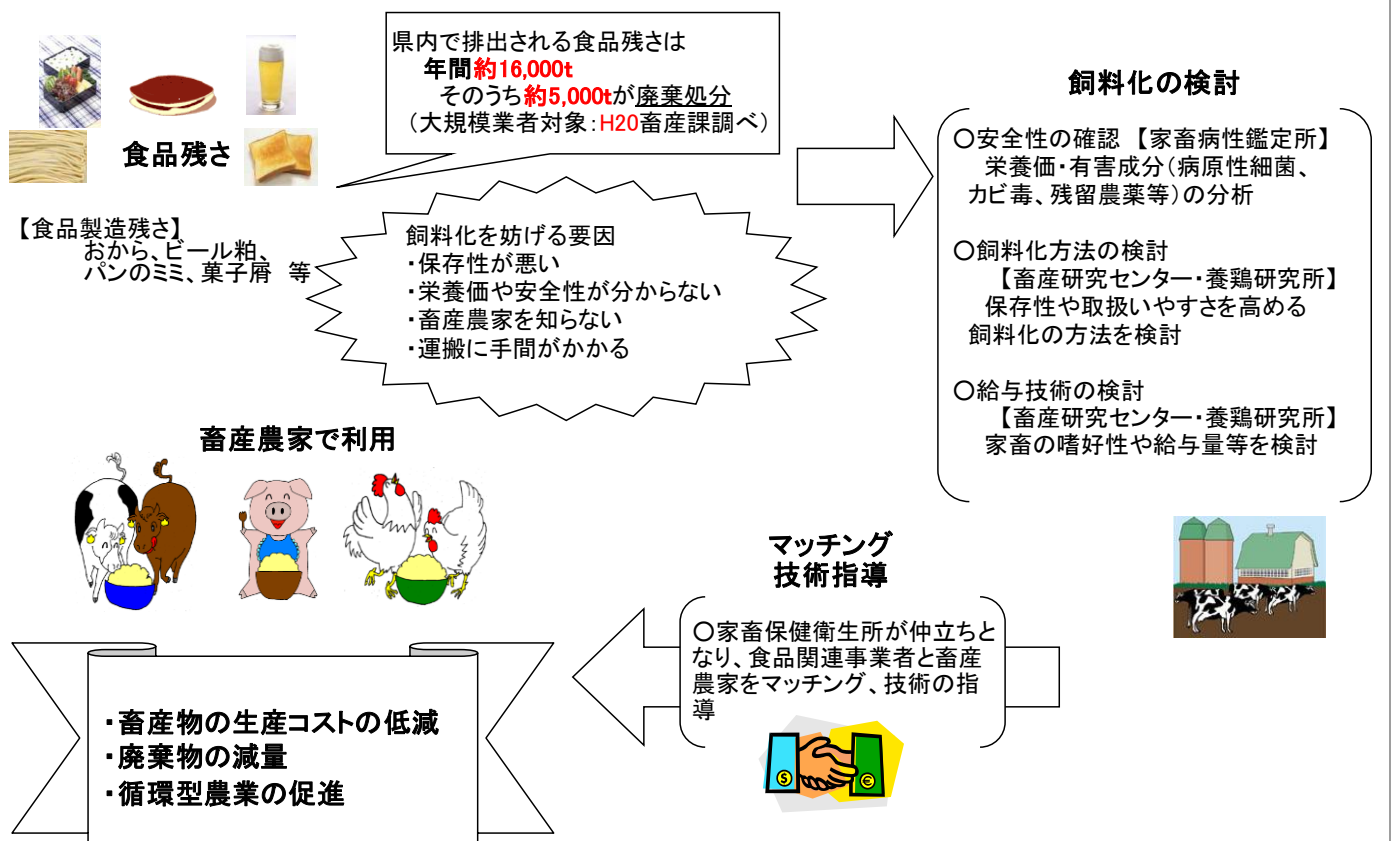
〔食品ロス削減の内容〕

- ・傷がついている、サイズが小さい等の理由から未利用となっている魚種と鯛から出汁を取った、豊かな旨味のブイヤベースを開発
- ・季節ごとに漁獲される未利用魚の種類が異なる特性を生かし、多様な魚種を無駄なく活用しながらも、鯛の出汁を核とすることで、味の安定性と資源の有効利用を両立している



団体名	愛媛県 畜産課
事業名	地産地消飼料増産対策事業費のうちエコフィード利用促進事業 (平成 17 年度～令和 7 年度)
目的	「愛媛県酪農・肉用牛生産近代化計画」に定める飼料自給率向上に向けた自給飼料の総合的な確保対策のうち、食品残さの飼料化に取り組むもの。
事業内容	生産者から依頼のあった畜産物への安全性が担保されていないエコフィードについて、安全性や品質の評価を実施 安全性評価事業 (C・9) ■実績 (R 6 年度末) : 3 件

エコフィード利用の流れ



団体名	保健体育課
事業名	予算化している事業はない
目的	学校給食における食品ロスの削減
事業内容	<p>(分野：C・4)</p> <p>学校や調理場において、残食量の計測や食べ残しの少ない献立作成に努めたほか、栄養教諭による食育の一環として児童生徒への指導を行った。また、教科（家庭科、社会科等）においても食品ロスに関する食育を実施した。</p>